

こんにちは
教育委員です



発行:今金町教育委員の会
〒049-4393 北海道瀬棚郡今金町字今金48−1
TEL:0137-82-3488【No.102】H24(2012).5.28
E−mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

美利河小学校山村留学『第24回海釣り体験バスツアー』（主催:今金ライオンズクラブ）同行記

快晴に恵まれた４／２１（土）、恒例の今金ライオンズ主催（会長：藤川治喜氏）により海釣り体験バスツアーが開催され、総勢３７名（児童７名、教員６名、里親４名、保護者・子弟４名、山村協５名、ライオンズクラブ７名、教委職員４名）が須築築港での海釣り体験とジンギスカンによる舌鼓で楽しい一時を満喫しました。教育委員会からもこの４月に人事異動で配属となった職員２名が同行し感想を寄せてくれました。



□ 教育委員会事務局
学校教育グループ　鈴木　忍



今回で最後となる今金ライオンズクラブが主催する美利河小学校山村留学児童を対象とした海釣り大会へ、この４月から教育委員会へ配属となった私も参加させていただきました。海釣り大会は、今金ライオンズクラブの皆さまの事前準備のおかげで、児童が体長５０㎝のアブラコを釣り上げることができ、大変思い出に残る最後のバスツアーだったと思います。また、今年度で閉校になる美利河小学校に通う子どもたちが、最後の１年を楽しく思い出に残る１年となるよう、私自身も学校教育の推進に日々、努力していきます。最後になりますが、今金ライオンズクラブの皆様、美利河小学校の関係者の皆様、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



□ 学校給食センター庶務・
業務グループ主査 近藤克俊



この４月から学校給食センターへ異動となり、今回の海釣り大会に初めて参加させていただきました。

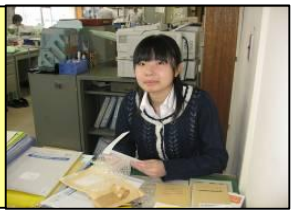
私は今回参加させていただき、改めて複式校の良さを感じました。私も複式校出身で、子供の人数が少なくても、学年を越えた一体感のある元気な姿や、その子供達を地域やライオンズクラブが支えることで大きな輪ができているのを見て、懐かしく温かな気持ちになりました。釣れた大きな魚も一体感のある雰囲気に誘われたのだと思います。最後に、美利河小学校や地域の皆様、また長年にわたり素晴らしい行事を運営していただいた今金ライオンズクラブの皆様に貴重な体験をさせていただいたことをお礼申し上げます。ありがとうございました。



ニューフェイス紹介
市川麻未さん（18歳）



今金高等養護学校卒
趣味:パソコン



今金町では昨年から養護学校の卒業生の就労支援のための制度を創設しました。この制度は、今金町が養護学校の卒業生を２年間臨時職員（嘱託主事）として採用し、役場での執務や企業研修等を通じて本人が希望する業種や地域での就職につなげる制度です。第１号として採用された奈良貴章くんは教育委員会に勤務して２年目を迎え、二人目の臨時職員となる市川麻未さんもこの４月に教育委員会に配属されました。市川さんは、現在、事務局での受付業務や町民センター図書室での貸出し業務にもちまえの明るさで元気に従事しています。

〔市川さんのミニコメント〕

仕事をはじめて２週間が経ちましたが、まだ慣れないことがたくさんあります。でも、わからないことは自分から聞けるようになりました。（実習の時、自分から聞くことができませんでした）電話対応も以前は作ってもらったマニュアルを見ながらしていましたが今は見ないでできるようになりました。これからの目標は、仕事で使うことが多いパソコンの操作や苦手な漢字を覚えることです。そして話す時はもっとハキハキ話すようになりたいと思います。皆さんよろしくお願いします。

第1回今金町特別支援教育連絡協議会及び今金町特別支援教育コーディネーター等会議開催！！

４／２６標記合同会議が開催され、会長に坂田種川小学校長、副会長に前田今金中学校長を選出し、これまでの今金町における特別支援教育の推進経過と今後の推進について意見交換や情報交換が行われました。特に、就学前からの「育ちの支援事業」や地域社会で暮らすための「就労支援事業」などについてその必要性と共に各職域についての実践課題等について共通理解が図れ、更なる推進が確認されました。



委員リレー寄稿「歳時記」



今月は、川上委員です。

『家族の絆・・・』

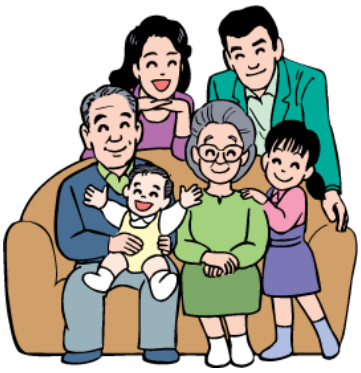
例年より雪解けの遅い春でしたが、それぞれ期待に胸をふくらませ新年度をむかえました。特に新社会人や新入生の皆さんは、心新たにはりきってスタートをきったことでしょう。



我が家の娘２人も進学し、新しい生活が始まりました。長女は私の実家（札幌）から大学へ通学することにしました。両親は、高齢になりましたが孫娘と同居できることを楽しみに快く引き受けてくれました。

両親は数年前夫婦２人で住みよいシンプルな家にリフォームしたので娘の部屋を用意するには、父母どちらかの個室を借りるしかありません。しかし、通学時間が１時間半以上かかることもありしばらく様子を見て大変なら大学の近くに移るつもりだったので娘はなるべく祖父母をわずらわせたくないとリビングの一角を簡易的にしきり小さなスペースでの同居を始めました。

娘は両親にとって初孫で今までとても手をかけられ母とは感性や趣味も似ているので刺激しあいお互い楽しい日々になると期待してました。



ところがリビングの一角というのは生活が丸見えでプライバシーが全くありません。常にお互いが気になります。娘は祖父母から細かなことまで干渉され少しずつこの生活が窮屈になってきました。

両親もこれまでの生活が一変しデジタル世代の女子大生に戸惑い心配と責任感で神経を張りつめています。家に帰っても休まる場がない娘はストレスがたまって身のまわりの事や家の手伝いもおろそかになり悪循環が始まりました。同居してわずか１ヶ月で思わぬピンチを迎えたのです。

三世代等大家族で生活していると考え方の違いで時には、ぶつかったり我慢しながらもお年寄りから学ぶ事はたくさんありますし、家族の誰かが困窮しても助け合うことが出来ます。

我が家のような核家族では夫婦が自分の考えで子育てや、しつけをして家庭を築いているので親世代から時代背景の違いで干渉されない分、軋轢が生じにくいかもしれません。

様々な家族形態がありますが変わらないのは『家族だから気になる。お節介をする。甘えがでる。』という事です。かえって日常的で身近なために思いやりを忘れたり知らずにきずつけてしまう時もあります。しかしたがいに認め合い感謝することで家族の絆はグンと強まります。どんなに辛くても信頼出来る家族がいれば乗り越えられます。子供が安心して生活できる環境が１番です。

さて我が家の両親と娘は、これからどのようにピンチを乗り越えるかもう少し見守るつもりです。乗り越えた後には、これまで以上の強い絆で結ばれる事を願って・・・。

平成24年度今金町教育推進会議開催
『読書と作文のまち今金』教育構想確認

年度当初に行政・学校・社会教育関係団体・実践活動団体が一堂に会し、今金町が目指す教育の在り方や重点施策、実践事例などを共有し、今後における連携や地域の教育力の向上を願い本年も４月２６日、今金町民センターを会場に推進会議が開催されました。

前半は、中島教育長の教育行政執行方針をはじめ、各学校の転入者の紹介、情報提供として道立今金高等養護学校長及び道立檜山北高等学校の担当教諭から特色有る取り組みや高校における今後の課題についてお話をいただきました。後半は、今金町学力向上推進委員会から「今金っ子育成プロジェクトの取り組みについて」の情報提供が行われ、これまでの視察研修や保護者懇談等の取り組み、教育委員会が教育大学との連携の中で取り組みを進めてきた事業などを踏まえて家庭学習や保護者へのアプローチとして「読書と作文」をキーワードとした考え方についての全体懇談が行われ、共通理解が図られると共に今後各分野において体系的に推進していくことが確認されました。

